

平成 22 年度伝の心研修会開催要領

1. 目 的

ALS 等の重症神経難病により、意思の疎通が困難となる患者にとってコミュニケーション支援は重要であり、意思伝達装置（伝の心）は欠かせないものとなっている。

療養者の様々なコミュニケーション支援ニーズに対応していくためには、作業療法士等リハビリ専門職の協力が不可欠である。そこで、患者家族へのコミュニケーション支援に対応できる指導者を各圏域に養成し、各圏域及び全県的な伝の心ネットワークを確立すること目的に、昨年度、伝の心の基本操作指導や入力スイッチの選択等対応方法について研修会を開催した。

今年度も引き続き、意思伝達装置導入の方法や問題点、課題などを中心に研修を行う。

2. 主 催：財団法人島根難病研究所 しまね難病相談支援センター

3. 対象者：昨年度の伝の心研修会出席者

（全県の作業療法士、理学療法士、保健師、看護師）

4. 日時と研修場所

・平成 22 年 11 月 26 日（金）18：30～20：30 出雲保健所

・平成 22 年 11 月 27 日（土）13：30～15：30 浜田保健所

5. 内 容

講義（40分）

「患者の要望に応じた導入の仕方」

意思伝達装置の体験（40分）

設定方法と患者体験

事例検討（30分）

事前提出された問題、課題等に対する回答

質疑応答（10分）

講師：国立病院機構松江医療センター
作業療法士 加藤伸一氏